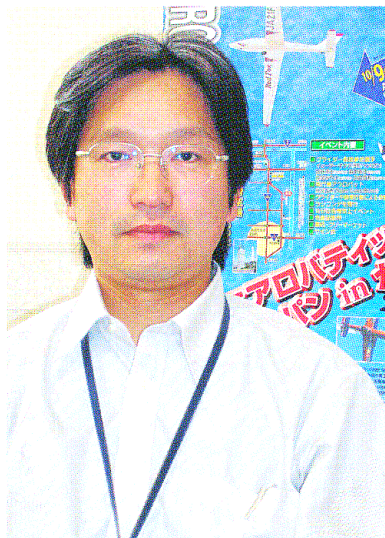


横 ◆ 顔

角田市内の角田滑空場で活動するグライダーを地域の目玉にしようと、8月に商工関係者らと市民団体「スカイネット角田」



さとう・ただよし 1961年11月30日生まれ。角田市出身。宮城工専卒。建設会社に勤務後、市内で不動産会社を創業。一級建築士。元角田市商工会青年部長。

スカイネット角田代表理事

佐藤 忠義さん(42)

■ 滑空の魅力を市民に ■

(会員約70人)を設立した。

「グライダーが飛び交うのは、自然条件に恵まれた角田だけの特色。全国に角田を発信できる事業になるはず」と意欲を見せる。

10月には全国初となるグライダーの曲芸飛行大会も市内で開催。天候不順で日程の短縮を迫られたとはいえ、北陸、関東地方からも問い合わせの電話が相次ぐなど、グライダーのアピール力の強さを肌で感じ取った。

高額の機体が必要なこともあり、ポール一つでできるようなスポーツ競技に比べ、競技者と観客の境界線が明確なグライダー。だからこそ、スカイネット角田は「市民との橋渡し役」になるよう、体験搭乗や情報提供に力を入れる方針だ。

滑空場の整備にも協力し、今春から県航空協会に招かれて同協会の理事を務める。「いずれは航空クラブに発展させ、地元出身の選手を世界に送り出したい」と夢を膨らませる。